



HSK  
う づ き  
卯月号

NO.105 2009.4.10号

Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号445号  
発行/2009年4月10日  
編集者/石澤 利巳  
住所/〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMOI F  
特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
TEL 011-633-6666 FAX 011-615-4132  
H P <http://npolife.net/>  
発行/北海道障害者団体定期刊行物協会  
定 価/200円

～日本の就労支援を問い直す！札幌フォーラム～

講  
演  
会

4月11日開催

「働きたい」を応援する

★200名を超える参加者！

社会的企業家・富田一幸さんの話に魅了される

「とても刺激的でした」「もう少し富田さんのお話を聞きたかったですね」「いい講演会でした」等々、『日本の就労支援を問い直す札幌フォーラム第1弾！ 講演会「働きたい」を応援する』には多くの反響を頂きました。

講師の富田さんは、障害者の就労支援事業であるエル・チャレンジ、西成地区におけるホームレスの就労支援事業、そして社会的企業として活動するご自身が代表を務められている(株)ナイスの取り組みの3点に的を絞ったお話をしてくださいました。その一つ一つのお話だけでももっと聴いてみたいという想いに引き込まれ、あっという間の1時間半の講演でした。

詳細は次号に掲載させていただきますが、言葉がもつ力を改めて感じさせてくれたいくつかを紹介させていただきます。

「働く意欲」は「働くこと」によって育まれる。

「公園で寝ている人」から「公園で働く人」へ。

「人に優しくなれる公園」づくり。

「働かねばならない(完全雇用)」ではなく「働きたい(フル就業)」へ。

「こんなんあったらいいなあ」と「働きたいなあ」で、社会的企業の出番。

富田さんの社会的企業(就労支援)の強い思いがちりばめられた講演会でした。

レジュメにはこうも書かれていました。「斜に構えず、覇を競わず、地域(社会)に溶けてゆく」。この言葉に私も大きくうなずきました。

(記・石澤)



富田一幸さん



# 講演 を 聞いて

## 働く意欲

もじや 熊野 宏和

4月10日・11日と大阪府西成区に拠点を構える、(株)ナイスの代表・富田一幸さんのお話を聞く機会がありました。自身のお子さんも障がいがあるとのことで、障がい者就労について積極的に活動されています。私は昨年共同連大会でも実はお話をお聞きしまして、その頃から関心をもっていました。

「働く意欲は、実際に働いてから得られる」というキーワードがありました。エル・チャレンジという施設なき授産を確立し、ビルメンテナンスの仕事を通して1年間就労経験を重ね、実際に就職する。当初は挨拶さえも難しかった人が、3カ月、6カ月、1年と著しく成長していくそうです。9年間で300人の就労へ結びついたそうです。

働くことは難しいのではないかと先入観や固定概念で可能性をうちけしていくのではなく、今できることをさらに伸ばしていけばいいのではないかと、それによって働くという意欲につながるのだとお話ししていました。

就労支援についても公共の場(府庁舎など)を利用するなどし、同時に公共物件を優先的に受けることができる、「総合評価一般競争入札制度」を全国初の試みとして取り入れ、ただ指定する金額より安ければいいというわけではなく、障がい者やシングルマザーの人を積極的に雇用していたり、環境面などいろいろな部分を総合評価することによって、各企業に競争させて雇用へとつなげていく画期的な制度をもとに進んでいます。

この制度には、たくさんの反対があったそうです。福祉の場で競争させるのかとか、そもそも障がい者の雇用をするよりは、罰金を払う方が楽だと思える人たちからは、否定的でした。それでも話し合いは重ねられ、障がい者の雇用は強制的でも進めるべきであるという考えのもと、作られたとお話ししていました。北海道で

も、この入札制度が実施されることになりました。運用自体はまだ時間がかかりそうですが、少しでも就労の場を確立していくことを考えたら、大阪だけの制度ではなく、全国的に広げるべき制度であると思います。

他にも富田さんは、ホームレスで暮らす人々の支援として、「公園で寝ている人から、公園で働く人へ」をコンセプトに、公園清掃の仕事へとつなげています。日雇い労働の人たちは、その日その日によって職種も場所も変わってきます。一つの仕事を最初から最後まで関わることなく、違う仕事をするようになるため、達成感や充実感を味わうことは少ないという話もあるようです。そこで公園での清掃や、花の管理をすることによって、自分たちが綺麗にしているんだという認識をもち、正式な仕事となり、やはりここでも働く意欲につながるのだと思います。

富田さんは、次から次へとアイディアを出していきませんが、私が受けた印象では、一貫として同じテーマであると思うのです。それは「働く意欲」です。働きたいと願っていても、仕事がなかったり、支援の手がなかったりすれば、意欲は低下していきます。多くの人が目を背けていく部分に焦点を当てることによって、弱者と呼ばれる人たちにも働く機会を設けることができるような気がします。

ライフ各事業所の仕事に関しても、もっといろいろな可能性を秘めているのではないかと、改めて考える良い機会にもなりました。



シンポジウムの様子

# ＊ともどもネットで障がい者が働く工場見学に行ってきました＊



パチリ☆

みんなで記念写真

共生共働ネットワーク内で毎回働き方について議論されています。話し合いの中で、視野を広げるためと、実際に障がいのある人が中心となって働く現場を見に行くことによって、刺激を受けたり新たな仕事のあり方を探ることができるのではないかと考え、今回は美唄にある二つの工場の見学に行ってきました。総勢30数名のネットメンバーで2009年3月13日(金)に行ってきました。



- 10:30 社会福祉法人北海道光生会福祉工場  
到着。見学先のレクチャー  
11:00 南美唄福祉工場見学  
13:30 日本理化学工業美唄工場見学  
17:30 札幌到着

## ■社会福祉法人 北海道光生会 南美唄福祉工場

所在地：北海道美唄市南美唄町西町

障がい者20名就労。家庭・ホテル・施設用ベッド、商標アンネルベッド、各種スプリングマットレス、車両座席用ネットスプリング、鉄鋼製品他設計製作販売。障がい従業員がどのポジションに移動しても担当することができる。

## ■日本理化学工業美唄工場

所在地：北海道美唄市東明二条3丁目2番10号

障がい者22名が就労。チョーク・黒板拭きの製造販売、プラスチック成型加工、使用済ハンガーの再生等を行っており、障がいをもつ人が働きやすいように、その人の能力に応じて行程を細分化するなど作業方法が工夫されている。

## 工場見学感想

ひだまり 松橋 勇祐

3月に、ともどもネットで美唄の工場見学に行ってきました。南美唄の福祉工場では、ホテルのベットやJRの座席などを製造していました。ベットは凄く寝心地がよかったし、北斗星のロイヤルルームやツイン・デラックスの座席もありました。

実物に座ったら乗っている気分になりました。

日本理化学工場ではチョークを製造していました。ホタテの貝殻を混合した粘土から造られていました。チョークの形に整えて長さを設定して箱詰めしていくまでがすごかったです。

いい経験になりました。

たねや 増田 真理子

美唄見学は2カ所に行きました。1カ所目はベッドの工場に行きました。ベッドがいっぱいあって気持ちよかったです。2カ所目はチョークとハンガーの工場に行きました。チョークがいっぱいありました。良い勉強になりました。

たねや 島 明子

共々ネットの現場訪問企画として3月13日に「南美唄福祉工場」と「日本理化学工業美唄工場」に行ってきました。2カ所ともに共通することは当事者一人一人が仕事に対しプライドをもち、責任をもって黙々と仕事をこなしていたということです。一通りの業務を自分たちだけでこなし、メンテナンスまで行っていました。このような完成された状態になるまでには何度も試行錯誤を繰り返し、様々な工夫をしていることがわかりました。また、見学に行ったことで働く姿勢の違いを実感しました。今後、ライフで働くうえで参考にしていきたいと思います。

たねや 山本 守一

ともどもネットで美唄の工場を見学に行きました。まず一つ目の工場は、もともと炭鉱で使われていて、昔から利用していたところを削減して使われていた。けれどもベットを作る作業場としてはものすごく広く、各作業ができるように作られていてベットのスプリングをつける人、そのスプリングを止める上下の金具をバネの長い物をするすると入れて簡単に作っていく作業で僕なんかは「何と素晴らしい」と思いました。

長い間その仕事をじっとやってきたのが、ものすごくその人たちの力に見えた。もう一つの理化学工業はチョークを作っている工場ではほとんどの人が障がいをもつ人で1日に14万本のチョークを作っている。そしてベルトコンベアで作っているの、僕は驚いた！一つのやわらかくなった石の固体が出てきて決まった長さにあわせる、もし少しでも長くなっていたり短くなっていたりしたらもう一度やり直しをしなければならない、だから少しのロスも許されず格闘していた感じである。8時半から12時まで15分の休憩しかない。それで14万本を作り上げるといふのだ。作業している人の目は本当に輝いていた。1日何本作ったかとわかるシステムになっていて今月のMVP賞はだれだれと決められていく、はかりが計れなくとも、自分でできることを見つけ出し、流れ作業を行っていく僕にはまねのできない一般企業なみの仕事をしているのに圧倒されて帰ってきました。

ひだまり 石田 程哉

最初はベットの製造工場を見学しました。

知的障がい者が正規に雇用している会社みたいで、JRや新千歳空港のイスの製造もやっていました。ベットのショールームではみんな横になってくつろいでいました。昼食はお弁当が出ました。お土産を物色しながら次の見学先チョークの工場へ見学に行きました。ここでも知的障がい者が正規に雇用していました。酒井美紀さんの司会で50年間この工場に勤めた人の特集をやっていました。とてもよかったのでこのドキュメントをドラマ化してほしいと思いました。

15歳の時の彼女を成海璃子(なるみりこ)さんで50年なった姿を松坂慶子さんというのはどうでしょうか？最後はつかれて爆睡しながら帰りました。



ひだまり 小野寺 宏基

危ないところを作る場所は機械がやっており、手間もかかるところは人の手で時間をかけて仕事をしていました。あとチョークの仕事場にはわかりませんがベットの仕事場には薬を飲んでよくと同じ病気をもつ人もいました。

やる気があればばくも働けそうでした。

たねや 山口 敏明

美唄見学は初めて見てまわってきて、福祉の工場ではすごく勉強になった。

その中で、仕事時間のむだをなくして、みなさん真剣に取り組み、いきいきしていた。

事前説明の話を聞いてるときに、思ったことはみんな頑張っているんだなと思って、おうえんしたくなった。これからも一年に一度は見学に行きたい。

きばりや 織本 亜哉子

共々ネットの行事で美唄に行ってきました。

はじめに行ったのは、南美唄福祉工場でベッドマットやJR車両のイス、新千歳空港の待合室のイスを作っていました。ベッドマットは、流れ作業で作っていました。働いている人みんな上手くてビックリしました。

あと、ベッドマットが飾ってあるところで横になってみました。気持ちよかったです。午後からは、日本理化学工場にいつてきました。チョークは、太いチョーク、目が不自由でも読めるようにとアイチョークという物や蛍光チョークなどを作っています。チョークの材料は、ホタテなどの貝殻などを溶かしたのと炭酸カルシウムで作っています。一番多く作っている色は白で、一日14万本以上作っています。チョークは最初は柔らかくて90度で6時間かけて乾かすと固まってチョークをチェックする人やケースに入れる人などいました。それ以外に、道内の百貨店で売っている服のハンガーを拭いていました。長くいる人では40年働いているそうです。とても良い勉強になったので見学に行ったら良かったです。

見学の機会があったらまた、行きたいです。

もじや 今野 美志

ベットの作成は役割分担でやってました。2回目の工場見学では、チョークを作っていました。

たねや 松村 亨

JRの列車の座席をつくっているところをみたのですが、思ったよりむずかしかった。

# 共働事業所

## もじら〜!

なんとか皆さんの期待にこたえられるように毎日の仕事をこなしていきたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願いします。

(もじや 加藤 信一)

### 工場の仕事

今野 美志

工場ではいろんな仕事をしています。印刷されたものを梱包したり配達したりしています。最近では名刺の機械も動かしています。あとは、木曜日にゴミの回収がくるので、それをまとめたりしています。

シールはりや帯どめ、紙を折ったりと忙しい時は他の所で仕事をすることがあります。体は細いけれど力には自信があって配達の時なども重い物を持って歩きます。

先日は美唄の工場を見学しましたが、みんな一生懸命でした。僕も負けずに工場の仕事を頑張りたいと思います。

### 制作スタッフ

泉 友香

私は今名刺の版下（ハンコのようなもの）などをイラストレーターというソフトを使って作っています。

ハンコを作るときに、気をつけたりすることがあります。例えば文字を揃えたり、文字の空間を調節したりして、全体のバランスを整えます。それはいい商品を作るために重要なことです。今まで主流だったソフトが変わり、これからは「インデザイン」という新しいソフトが主流になるので、勉強が大変重要になります。インデザインとは、ページレイアウトを組むソフトです。もじやにもインデザインの入っているMacがあります。現在熊野さんが独学で学び巧みに操っています。

もじやのみなさんは勤勉な人が多いので、私も見習おうと思います。



制作室

加藤 信一

えっ、パソコン…去年の5月のゴールデンウィーク明け、もじやで働くことになりました。

私は前の会社で印刷の仕事を12年やっていました。今回のもじやの求人も印刷の仕事でしたので自分にはこの仕事しかない、と思い面接をうけ採用となったわけです。さて、がんばって仕事するか！ と意気込んでいた私に、もじやの印刷の仕事はいままでやったことのない内容の仕事で「これは大変だ」とあせって、とにかくメモをとりながら毎日が苦労の連続で、こんなはずでは…と思ってもなかなか仕事になじめない。とうとう印刷の仕事につかれはてた私は印刷の仕事はできない、と判断し上司に相談することにしました。そしてある日、制作へ移動することになりました。

なんとかやっていけるだろう、と思っていました。ところが制作というのはパソコンの仕事で自分はほとんど経験がなく、インターネットで遊んでみたり、たまにレポートを書くのにワードを使っていたぐらいで本当に初心者同様でした。最初は打ち込みの練習からで、とにかく1日いっぱい文字入力をしていました。それから、そのうち少しずつ仕事が入ってきて、Excelのデータ入力や版の制作など…でも私は「どうしよう、わからないことも多いし間違えたらみんなに迷惑をかけてしまう。印刷もできなかったし、これでパソコンもできなかったら私は自信をなくし、また落ち込んでしまうのではないか」と不安な毎日がつづきましたが周りのひとたちのサポートがあって少しずつ仕事もできるようになってきました。



## 仕事について

井口 真二

ロウソクににおいをつけようと思い、いっしょうけんめい研究中です。

完成にはまだまだ、とおいですが、商品化できるように頑張っていきたいです。

松村 亨

絵をかいて、作品を作ってみたいです。

増田 真理子

ロウソクに絵を描いて、新しいろうそく作りをしています。そのために絵を描く練習をしています。

本番もろうそくにうまく絵を描けるようにしたいです。

大橋 佳代

仕事もだいぶ馴れてきました。でも最近は暇な時が多いので、たくさん仕事が入ればと思います。

後藤 冬風

かごをつくります。

嬉野 健人

掃き掃除、ゴミ集め、棚かたづけ大好きですがんばります。

谷津 翠

ろうそく作りをしました。2個つくってたのしかったです。おりのれんしゅうをしてたのしかったです。

佐藤 賢治

今、すこしづつ仕事がいってうれしいな、たのしいなー

むずかしいんだけどたのしかったりする。今日このごろだ。

笹尾 知弘

途切れ途切れでも良いからDM折りの仕事が欲しいです。

鈴木 麻衣

ロウソクに絵を描いたオリジナルロウソクを作るための絵を練習しています。

これからも、ロウソクに絵を描く練習をして、本番で上手く描けるように絵の練習をがんばっていきたいと思っています。

山野 園美

自分の苦手分野を少しずつでも克服する。

タイピング練習を習慣づけたい。目標はブラインドタッチを身につけたい。

入力の仕事がきたら、少しでも役に立てるようになれたらと思います。

小黑 悠佑

たねやに入って早くも一年が経ちました。

今年は仕事の流れをスムーズにできるよう工夫をしていきたいと思っています。

また、たねやのロウソクをたくさん売れるよう営業に力を入れていきたいと思っています。

## 新人紹介

僕は島隆也といいます。仕事を覚えて一日でも早く皆さんの役に立てるように頑張りたいと思っています。

経験した仕事の中で苦労したのは帯を巻く仕事です。最初は、緩すぎて上手くできませんでしたが、練習を重ねていくうちにできるようになりましたが、でもまだ練習が必要なので早くしっかりできるようになりたいです。

今まで経験したことのない仕事が、たくさんあるので、経験して一人前になれたらいいなと、と思っています。これからもいろいろあると思いますが、よろしくお願いします。

大島 隆也

## ロウソクの販売先を探しています

個人の方、お店などでの委託販売、もちろんバザーなどの出張販売も  
**大歓迎です。**

**たねやまで御一報下さいませ！**

**TEL 011 (614) 1871**

札幌市障がい者協働事業  
共働事業所

# きばりや キ バラネット☆☆

個性豊かなスタッフが共に働いています。

## 2009年度が始まりました。

きばりや所長 岡田 悟

皆様にとって2008年度はどういった1年だったでしょうか？

100年に一度の不況と言われる中、きばりやでは2008年度の決算とにらみ合いをし、今年度への展望に頭を悩ませています。

とはいえ、2008年度は多くの方に支えられ、軽作業部門・喫茶部門共に毎日充実した働きをすることができました。収益的にも恐らく2007年度以上かと、本当かどうかはこのアドボケイトが発行された頃にはわかっていると思いますが…。

しかし、厳しい状況であることには変わりはありません。特に軽作業部門は単価が数円の世界です。必死で1年間続けてもこの状況です。今後は違う事業への方向転換を図るか、職域を拡大するか、軽作業の中で踏ん張るかまだわかりません。もし、軽作業という道を今後も選んでいくのであれば、どれだけのネットワークを確立していけるかだと思っています。

また、ライフ全体としても去年の11月にひだまりの厨房ができました。今後はカフェと厨房が一体となって新たな事業が展開できないものかと期待を抱いている状況です。とにかくにも、2009年度もキバっていきますのでよろしくお願いいたします。

### ★ スタッフの声 ★

#### ☐ 機械折りに挑戦の巻

星 悠

僕は、少しでも機械折りに挑戦しないとダメかなと？ 思っています。理由は、先輩や岡田サン、ジョンさんが機械折りしているので、僕も機械折りに挑戦しようと思っています。

#### ☐ 萌える闘魂

濱中 孝仁

いろいろな仕事をみんなで一生懸命にたくさんしたことが嬉しかったので、頑張りました。

僕は、たくさんの仕事を一生懸命にしたことが嬉しくて頑張りました。

#### ☐ THE☆仕事

真光 和徳

今、キバリヤで特にポスティングや〇〇のシール等の仕事をしています。あと折りの仕事をしています。

軽作業・ポスティング・DM発送作業などのご依頼は、

「共働事業所 きばりや」

TEL 011-669-3810 FAX 011-669-3808



### Cafe de キバリヤ からのお知らせ

春の訪れと共に4月のカフェもベーグルパンからロールパンにと、リニューアルメニューを検討中です。

4月の限定プレートを4月12日～18日にご提供いたしました。これからも限定プレートをお客様に紹介していきたいと思っています。是非ご利用下さいませ。

スタッフ一同

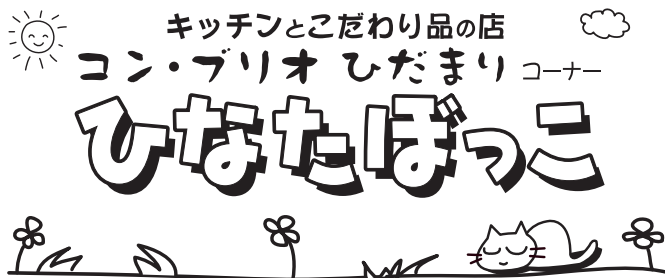
札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内3階喫茶コーナー  
TEL・FAX 011-758-6533

#### <4月の限定プレート>

- ・ ロールパン&ライ麦パン（2種）
- ・ お豆のディップ
- ・ サラダ
- ・ 麦わらジャガイモ
- ・ ドリンク



500円



定休日：毎週日曜日・祝日  
 営業時間：お弁当11:30~13:30  
 店舗10:30~18:30  
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F  
 TEL: 011-615-4131 FAX: 011-615-4132

## ♡ トヨタハートフルプラザバザー

◆藤井 孝雄

これまで、毎年秋にひだまりの出店をさせてもらい、今回初めて春の開催にもひだまりが参加しました。秋と比べて人がちょっとしかいなかったけど後半はちょっとぐらい来てくれました。

「バザーでは、ひだまり店舗販売のときとはひと味違うみんなの姿が見られますよ♪ぜひ見かけたら気軽に声をかけてください。」

## ◎トヨタハートフルプラザとは？

福祉車両常設展示場です。

たとえば、「自分でクルマを運転したい」や「車いすのまま乗り降りしたい」などの要望に豊富な車種や機能・装備の中から探してくれます。きめ細かな「やさしさを体験」できたり「要望に対応したクルマづくりの相談」をテーマにしたスペースです。

※トヨタハートフルプラザ詳細

営業時間：午前10:00～午後6:00

定休日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

住所：札幌市西区二十四軒1条7-2-19



## キッチンよりお知らせ

### どんな献立を作っているの？



◇献立の一例◇

煮込みハンバーグ マカロニの付け合せ  
 煮びたし カボチャのソテー とり肉のくわ焼き  
 五目ひじき 大学いも サラダ  
 —3月3日 おひな様スペシャル—  
 ちらし寿司 菜の花のおひたし 白和え ミニ桜餅  
 など

←500円にて絶賛発売中！

◇1週間の献立表は、コン・ブリオひだまり店頭においております。お立ち寄りの際に、お持ち帰りください。

◇日替わりランチ・弁当は、琴似周辺に限り、2個以上の注文から配達いたします（配達希望の方は、前日のPM2時までにご注文ください）。

ヘルパー派遣・在宅介護支援

ヘルパーステーション



＜政策提言サポーターの提言書の要旨＞  
「交通費助成は障害者の社会参加に必要で、外出や移動を保障する制度。削減ではなく、むしろ充実を」

- 通院、通勤のため福祉乗車証を存続すること
- タクシー、ガソリン券を利用しやすい制度に
- 精神障害3級の助成が圧倒的に少ないので拡充を
- 障害者全員を対象にした利用実態調査の実施を

市民団体提言

市長「前向きに検討」

# 札幌市の障害者交通費助成削減問題 福祉乗車証存続、充実を

札幌市が障がい者の交通費助成金を削減する方針を示している問題で障がい者でつくる「市障がい者による政策提言サポーター」は二日、上田文雄市長に対し、削減ではなく充実するよう求める提言を行った。上田市長は前向きに検討する姿勢を示した。交通費助成は重度障がい者に地下鉄、バス、市電を利用できる福祉乗車証かタクシー券やガソリン券のいずれかを交付、中度の障がい者には定期券などを渡す。本年度事業費は約二十三億七千万円。市は昨年、大幅な削減案を提示したけれども障がい者団体らの反対を受けて今年六月に

見直した案を作る予定となっている。

サポーターは障がい者と意見交換をしたうえで提言をまとめた。市が当初廃止するとしていた福祉乗車証については「通勤、通学など障がい者の社会参加促進や外出機会の確保に最も利用しやすい制度」として存続を求めてそのほかの制度も充実すべきだとした。この日は黒田澄雄さん（障がい者による政策提言サポーター代表）が上田市長に提言書を手渡した。サポーターからは「共同作業所で働いて受け取るのは月三千万円～四千万円で、交通費を払えない」などと切実な意見が相次いで出された。

上田市長は「市民も必要と思ってくれるのではないかと思う。福祉乗車証を含めて前向きに検討したい」と述べた。

去年の夏に400人以上の障がい当事者や関係者が札幌市役所の前に集合し、そのうち数名の代表者が札幌市の障害福祉課に入り「福祉乗車証をなくさないでほしい」と訴えたことがあります。

その訴え以前にも数々の声を何度となく届けてきた経緯もあり、今年度も継続する形となった。私も通勤するために毎日地下鉄を利用しています。今後、頑張って働いたとしても月に数千円くらいしか受けとれない人たちの交通費が負担になってくるのであれば、自立へのさまたげになっていくと思われます。そして移動手段が限られる人にとっても削減は厳しいと言わざるを得ません。

今年度も6月には見直し案が出されると言われています。本当に必要ならば自ら声をあげて訴えていかなくてはなりませんし、障がい者自身も使いかたのルールを守り、日常生活に困難な状態にならないように利用していくことが必要だと思います。

佐々木 泰彦

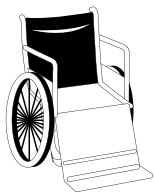
ヘルパーを募集しています  
お気軽に連絡下さい

TEL

011-623-2505

FAX

011-613-9323



# **ご協力ありがとうございました**

3/23～3/31 アドボケイト購読料 ※アイウエオ順

賛同会費
寄 付
維持会費

4/1～4/13

アドボケイト購読料
賛同会費寄 付

## 一 馬路村製品 — ひだまり店舗より味わってほしい逸品

◆「ゆずの村」は昭和61年に発売開始したロングセラー「ゆずぽん酢」です。

昭和63年には「日本の101村展」で大賞を受賞しました。当初は水炊き、ちり鍋、湯豆腐など、鍋物をこのぽん酢で食べてもらいたいと思って作りましたが、生野菜などに和風ドレッシングとして利用したりギョウザ、冷やっこ、お刺し身、焼肉のタレなど、お客様からたくさ



ん用途を広げていただき、今では食卓で一年中利用されるぽん酢となりました。

◆馬路村のゆず作りは有機栽培が基本、化学肥料や除草剤を使用せず、手間ひまかけたゆず作りと寒暖差のある気候が、香りのいいゆず作りの秘訣です。皮の食感とゆずの香りを大事に考えて作った、人気モノです。

ゆず茶のおいしい期間（賞味期限）：約6カ月



編集後記：次回からアドボケも変わるといいます。よろしくお願いいたします。

同封しました郵便振込用紙は、請求ではありません。必要な方にお使いいただくために同封しておりますので、ご容赦願います。

なお、振込をいただく場合は

- ・維持会費 1口 10,000円（何口でも可）
- ・賛同会費 1口 3,000円（何口でも可）
- ・アドボケイト購読費 年会費 2,400円
- ・共同住居建設資金
- ・寄付金

などをご記入くだされば幸いです。

### アドボケイト 4月号（第105号）

2009年4月10日発行（毎月10日発行）通巻第445号

HSK通信1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

事務局長 石澤 利巳

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-615-4132

E-mail npolife@beach.ocn.ne.jp

ホームページ <http://npolife.net/>

郵便振替口座 02710-4-63485